



# The TKKF TIMES

高崎経済大学附属高校新聞部 8月26日(水)発行 8月号

## 今年も高経附は大人気？ オープンスクール大盛況

平成27年8月7日(金)に本校でオープンスクールが開催され、高崎市内だけでなく市外の中学校からも多くの生徒やその保護者が来場した。また、当日は生徒会をはじめとする様々な団体の発表や先生方による体験授業が行われ、来場者に高経附の魅力を伝えていた。

毎年夏に開催される本校のオープンスクールには、猛暑にも関わらず例年多くの人が訪れる。しかし、近年本校がSGHや野球部の活躍で一段と知名度を増したからか、本年度は中学生1412人、保護者を含め2075人も参加者が集まった。これは例年と比較すると200人の増加で、本校の存在感がますます濃くなっていることが感じられる。中には県外からの参加者もいたようだ。



▲生徒会による分かりやすい学校説明

当日行われた学校概要説明では、まず初めに生徒会がスライドを使った学校紹介を行い、校舎を初めとする

本校の様々な設備や、四季折々の学校行事などの「高経附の魅力」について

説明した。参加者たちは次々とスクリーンに投影される菱華会館などの充実した設備、そしてアメリカや韓国の姉妹校への生徒派遣や球技大会、文化祭などの多種多様な行事を興味深そうに見つめていた。

次に1年生文系オナーによる文系オナーの概要説明が行われた。最初はオナーの意味についての説明から始まり、文系オナークラスの現在までの活動内容や今後の活動について説明していた。最後に来場者がオナークラスに対してもっているであろう疑問に、楽しく明確に答えていた。



▲高校の授業を体験する中学生

文系に続き理系オナーの説明では2年生による発表があった。文系と同様にオナークラスについての説明から始め、県立ぐんま文台や、足利工業大学、前橋工科大学などの多くの大学や企業と協力し連携していることを説明した。連携して行われた実習の内容を生徒が実際に体験している写真とともに発表し、オナー



▲迫力のある校歌を披露したサッカー部

部が校歌を披露した。芸術系音楽コースの発表では、ピアノとフルートの美しい音色で会場を魅了し、吹奏楽部の演奏では迫力のある演奏で会場を盛り上げた。体験授業では、中学生が普段実際に本校で行われている授業を体験していた。各教室では本校の先生方によって個性溢れる授業が行われ、緊張していた中学生

も思わず笑顔になるような楽しい授業や、少し難しい高校の問題を中学生にも解けるように分かりやすく解説する授業もあった。今回のオープンスクールを通して、多くの中学生に高経附の魅力を伝えることができたのではないだろうか。これをきっかけに本校を受験する生徒もいるに違いない。このオープンスクールが受験生にとって役立つものになったことを期待する。(本間)

## 放送部 第97回高校野球 アルプスリポ 応援席の熱気 伝える

平成27年度7月20日(月)〜26日(日)に、本校放送部が全国高等学校野球選手権群馬大会の高校生アルプスリポーターを務めた。今回はその生徒にインタビューを実施し、大会時の心境を伺った。



▲健大の応援席を取材する小金澤さん

高校生アルプスリポーターとは、高校野球の応援席を試合中に取材し、群馬テレビやFMぐんまの視聴者にリアルタイムでわかりやすく伝える活動だ。本校からは放送部の生徒である小金澤萌さん(2年)、清水里奈さん(2年)、島方結愛さん(1年)、青柳陽南さん(1年)の4名が参加し、応援席の様子を伝えた。

決勝戦のリポートをした小金澤さんにそのときの感想を伺うと「去年もリポーターを務めたのですが、やはり緊張しました。でも、なかなかできない体験ができてよかったです」と答えてくれた。また、リポートする際に心がけたことについては「去年の自分は元気がなかったのですが、今年は元



▲応援席の様子を伝える清水さん

気がはつきりとリポートすることを心がけました」とのことだった。さらに、準決勝の試合をリポートした清水さんにその際の感想を伺うと「普段できない経験ができてよかったです。改めて高校野球の熱さを感じられました」と答えてくれた。さらに、この活動を希望した理由を伺うと「選手たちを支えている応援席の様子をリポートしてみたかったからです」と笑顔で語ってくれた。(本多)

## ボタンが七色に光る？ 新型自販機 現る！

8月18日(火)に、中庭に設置されていたパックジュース自動販売機のうち2台が新品に取り替えられた。新品になったのは中央階段側の2台の自動販売機で、最近商品や貨幣のつまりによる故障が多かったために交換したとのことだ。事務の方は「やはり生徒には気持ちよく自動販売機を利用してもらいたかったので、今回の交換に至りました」と語ってくれた。(千葉)

## 耐震補強工事の影に… さよなら 天体観測施設

夏期休業中に本校校舎の耐震補強工事が行われ、その際に天体観測施設が撤去された。天体観測施設とは、本校校舎の屋上に設置されていた半球状の建物で、内部には学校の設備としては有数の大型望遠鏡が完備されていた。しかし、校舎の老朽化が進み、重量のあるこの施設は校舎に負担をかける



▲骨組みだけになった施設の屋根

という判断が下され、生徒の安全を守るため、今夏の耐震補強工事の折に撤去されてしまった。以前、本紙でも『5月号①裏』で隠れた天体観測スポットとして紹介したこの建物は、過去に生徒たちが合宿を行うなど、夜空に憧れを抱く生徒たちの憩いの場になっていた。しかし、最近ではあまり利用される

気にはつきりとリポートすることになった。さらに、準決勝の試合をリポートした清水さんにその際の感想を伺うと「普段できない経験ができてよかったです。改めて高校野球の熱さを感じられました」と答えてくれた。さらに、この活動を希望した理由を伺うと「選手たちを支えている応援席の様子をリポートしてみたかったからです」と笑顔で語ってくれた。(本多)